

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名		繁殖牛導入資金助成金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	事業部	課長名	塚本 健洋
	施策	26	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	谷口 大介
	施策の柱	69	生産基盤の確保と経営力の強化			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 11	事業連番 10289	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	畜産農家が繁殖牛導入事業で導入した牛1頭(肉用牛)につき2万円を助成する。優良牛導入のため畜産農家からの要望があり実施している事業である。
【業務の流れ】	計画承認申請書→補助金の内示→補助金交付申請書→補助金交付決定→補助金支払い→実績報告→補助金交付確定
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	畜産農家から継続してほしいとの要望がある。 また、菊池市が予算の範囲内で上限5万円の助成を行っていることから、助成金額増額の要望がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	関係団体から一括申請される。	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		繁殖牛を導入した農家に対して補助金を交付する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 支払件数	イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	畜産農家	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 戸
		→ ア: 繁殖牛を導入した農家数
		イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	優れた肉用牛を導入するための経済的負担を軽減できる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 頭
		→ ア: 繁殖牛を導入した頭数
		イ:
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
多くの優良繁殖牛を導入してもらうため成果指標を「繁殖牛を導入した頭数」とした。目標値については、過去3年間の実績に基づき45頭とした。		全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
① 活動指標	ア 件		35	30	45	32	45	45	45	45	
	イ:										
② 対象指標	ア 戸		12	12	10	12	10	10	10	10	
	イ:										
③ 成果指標	ア 頭		35	30	45	32	45	45	45	45	
	イ:										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	700	600	900	640	900	900		
		(A) 事業費計	千円	700	600	900	640	900	900	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	1	2	1	1	0	0
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	65	62	50	106	50	50	0	0	
	(B)人件費計	千円	258	230	199	0	199	199	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	958	830	1,099	640	1,099	1,099	0	0	

事務事業名	繁殖牛導入資金助成金事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 畜産農家や畜産団体に対して当事業の周知が不十分であった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 当事業を広く周知し活用してもらうことで達成を見込む。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 枝肉価格の低迷や飼料価格の高騰などが影響しており、難しい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似の目的を持つ事務事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業への職員の対応を少なくすることは難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 繁殖牛を導入する畜産農家すべてが対象である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため適正である

3 評価結果の総括 (CHECK)

今年度は32頭の繁殖牛導入分の補助金を交付した。啓発活動等により優良繁殖牛の増頭を図る。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策